

2025 年 6 月 10 日 こどもの転落について

こんにちは、もりもりキッズアレルギークリニックです。

新緑のきれいな季節になりました。ご家庭の窓を開けて風をいれる事も多くなってきましたね。そこで気をつけていただきたいのが、窓やベランダからの転落事故です。転落事故は5月が最多というデータもあります。

- ・一人で歩き始める1歳～2歳頃から増えはじめ4～5歳で最も多くなると言われています。
- ・ベランダの室外機は手すりから60センチ以上離して水槽や植木鉢などの踏み台となるような物は置かないようにしましょう。
- ・窓は、ソファや椅子、ベッドが足掛かりとなり、身を乗り出して転落することがあります。窓の近くに置かないようにしましょう。
- ・また短時間の外出であっても子供一人残して出かけることは危険です。お昼寝しているからと窓やベランダの戸を開け放して出かけ、転落するという事故もあります。施錠していても自分で外すことができる子もいます。3～4歳の子供たちは好奇心旺盛で体の動きも活発になってきます。しかし危険かどうかを判断することは難しいです。大人が子供目線に立って危険を回避できるような環境整備をしておく必要があります。

消費者庁からの関連リンクを貼っておきますので参考にしてください。

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202107/3.html>

